

公表:令和 6 年 3 月 11 日

事業所名 スクラムプラス 伊那校第1教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・限りのあるスペースですが、工夫をしながら使用しています。 ・曜日や時間帯により、利用が集中するときは受け入れの調整が必要な時があり、利用希望に添えないケースもある。 引き続き可能な限り多くの受け入れができるよう努めます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・子どもたちの支援に必要な職員数を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・施設内は段差をなくし、バリアフリー化をしております。 ・建物入り口とトイレ入り口に段差がありますが、必要に応じ職員が介助にて対応いたします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・業務の問題点や改善が必要な事項を、週次のミーティングで共有し、その改善に向けた取り組みと見直しも、全職員で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、保護者等向け放課後等デイサービス自己評価を実施し、業務改善に努めています。 ・日々、保護者の意見に真摯に向き合うよう努め、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・グループ本部のホームページにて公表しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後は必要に応じ、第三者機関に評価を依頼するなど、検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所にて年間研修計画を定め、計画的な社内研修を行っております。また、外部研修へも積極的に参加しています。 今後も、施設の実状にあった意義のある研修の実施に努めます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用開始時とモニタリングにて定期的にアセスメントを実施し、支援計画の作成を行っています。 ・利用者本人と保護者両方と対話をし、どちらか一方のニーズに偏らないよう努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で定めるアセスメントシートを用い、アセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・定例ミーティング等にて、担当の職員だけでなく、職員一人一人の見かたや意見を参考に活動プログラムを考えています。 利用者個別の支援目標や進め方の共有に取り組んでいます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・子どもそれぞれの好きなことや、得意なことに偏りがちになる傾向があるので、様々な観点からプログラムを作るよう努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・平日に出来ないことを休日や長期休暇に行うなどしているが、きめ細やかな課題設定とは言えない。 今後は活動ごとの課題を明確に設定し、より細やかな支援に努めます。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・施設的环境上、一日における集団活動と個別活動の割合が、利用する曜日により偏っており、子どもによっては個別活動が主になっているケースもあります。 今後は様々な場面で多様な関わり合いが出来るよう、考えていきます。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に朝礼を行い、当日の支援内容や送迎等、必要事項の打合せを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、支援記録作成の際に当日の振り返りを実施し、適宜情報共有をしておりますが、時間が足りないと感じる場面もあります。今後は、振り返りと共有の時間を、一日の業務のなかにはっきりと規定化できるよう努めたいと思います。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・当日の支援記録や日々の関わりの中での気付き等、様式を定め記録しています。次回の支援開始前はそれをもとに打合せをするなど、検証・改善に努めています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・概ね6か月に1度モニタリングを行い、定期的な見直しを行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		・基本活動の複数を組み合わせはしているが、日々の活動としては少し偏り気味ではある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・基本的には児発管が出席をしているが、状況に応じ担当職員が出席をするなど適任者を参画させています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・利用開始の支援会議の際に、送迎時の決まり事や引き渡し方法を確認している。その他は、主に保護者を通しての確認となっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在当事業所において、医療的ケア児の受け入れ体制は整えておりません。 ・利用契約時にかかりつけの医師・医療機関の確認をし、緊急時の対応を確認しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・児童発達支援からの以降においては情報共有がなされています。そのほかのケースについては、適宜情報共有に努めます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・当事業所において、まだそのケースが無い為前例はないが、必要に応じ情報提供ができるよう想定しております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・障がい者総合支援センター等が主催する、研修会や連絡会に積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・現状活動機会はありません。今後は子供たちや保護者のニーズを聞き取り、必要に応じ検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・実状、参加の意思はあるが、積極的な参加は出来ていません。今後も可能な限り多くの参加ができるよう、人員や時間の調整に努めます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・その日の様子など、送迎時や連絡ツールを利用して報告をし、必要に応じ保護者面談の機会を設けるなどし、共通理解を持つよう努めています。今後はモニタリング以外にも、事業所内や訪問にて、定期的な相談の機会を設けるよう努めます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・必要に応じ、保護者からの相談を聞いたり、助言を行うなどしています。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に説明をさせていただいております。また必要に応じ、随時職員から説明をさせていただく様にしております。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった際は適切な助言と支援に努めております。今後も引き続き、相談をしやすい環境や関係づくりに努めます。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現状保護者会等、保護者間での連携はできておりません。今後は必要に応じて検討を重ねたいと思います。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	・苦情対応窓口、担当者、第三者委員会を設けており、契約時に説明をしております。 ご意見があった場合は、迅速かつ適切な対応に努めています。 ・周知については検討の余地がある為、引き続きさらなる周知に努めます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・必要に応じ、お便りや連絡ツールを利用し発信しております。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の保持と保護に関しましては契約時に説明させて頂いた上で、メモ等の適正破棄・鍵付き書庫での保管等、適切な取り扱いに努めています。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・それぞれの特性の理解に努め、当日のスケジュールを本人と一緒に確認しながら決めたり、予め伝えておくなど、ひとり一人に合わせた意思の疎通・情報伝達に努めます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現状はそのような行事等は実施できておりません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各対応マニュアルは策定しており、読み合わせ等により職員にも周知しております。 ・保護者への周知と、より施設状況に合わせたマニュアルの策定を課題とし、見直しに努めます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・市の危機管理課より出張いただき防災教育の講義を行ったり、地震災害の避難訓練を実施しています。 今後については、定期的な災害訓練の実施を継続するとともに、保護者を含めた情報伝達訓練や引き渡し訓練の実施が課題です。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・管理者、児発管による障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修の受講、それをもとに職場内研修を行っております。 また、運営法人にて虐待防止委員会を設置し、定期的な委員会の開催と研修を行っております。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・現状、身体拘束が必要であるとの判断の児童はおりませんが、今後検討が必要な児童がいる場合には、行政・相談支援専門員など外部の関係者も含め協議し、ご本人とご家族への十分な説明と同意を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載します。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・利用契約時に保護者から聞き取りにて把握し対応しております。 また、飲食などの提供がある際はあらかじめ保護者にご案内し、都度の対応をしております。 ・今後、飲食の機会を増やすなどがあれば、検討したいと思います。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所の定める様式にて作成し共有しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。